

長谷川和廣著「2000社の赤字会社を黒字にした社長のノート - これから10年、自分も組織も生き抜くために - 」かんき出版 2009年7月6日刊を読む

プロの仕事人になるための必要条件・十分条件

1. 私が部下を抜擢するときの条件は単純です。それはその人が「プロ」なのか「アマ」なのかという点。

2. 私の考えるプロ社員の見極めポイント(「プロの仕事人になるための必要条件」)は基本的に5つ。

(1)やる気

(2)専門能力

(3)調整能力

(4)人望

(5)健康

でも、これだけでは、まだプロの候補生にしか過ぎません。

3. 5つの能力を満たし、その上で、

(1)自分で考え、仕事を楽しんでやる人であること

(2)苦勞の経験を積んでいる人、そしてなおかつ

(3)成功体験を積み重ねる努力をしている人であること

以上を「プロの仕事人になるための十分条件」として求めます。

特に私が信頼を置く人材というのは(3)の「成功体験を積み重ねる努力をしている人」です。

4. (1)成功するためには、常にはじめの必要条件(1)~(5)の能力を引き上げる必要があります。

(2)そして、その過程では必ず壁にぶつかるはずですが、それを突き破るには楽しみながら仕事に取り組むまことは続きません。

(3)そうすれば自然とすべての必要・十分条件をクリアできるのです。

[ コメント ]

長谷川和廣先生の「気づきメモ」の最も大切な第一章は、プロの仕事人になる必要条件・十分条件。私など一生かけて取り組みたい課題ばかりだ。

- 2009年8月22日林明夫記 -